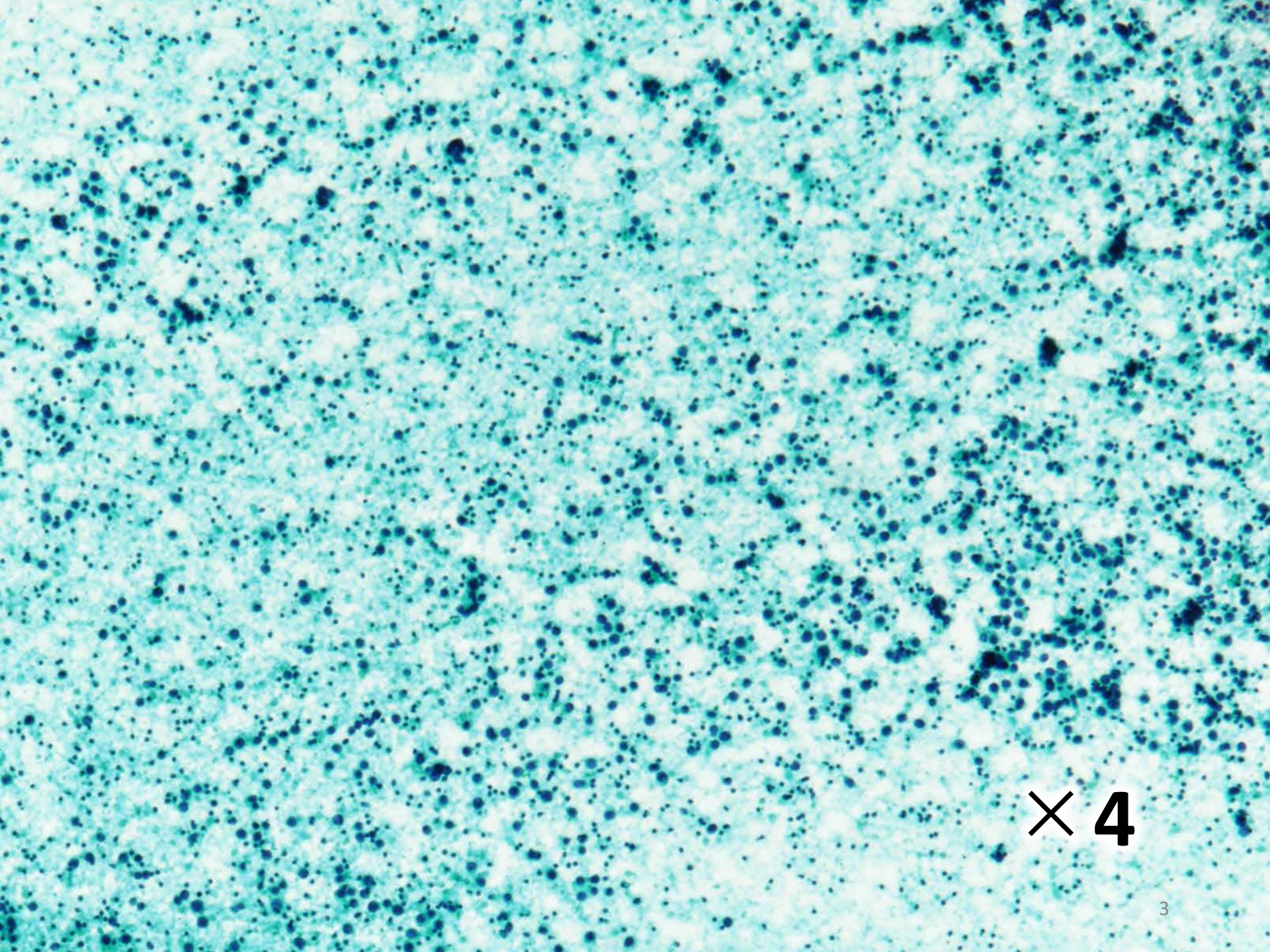


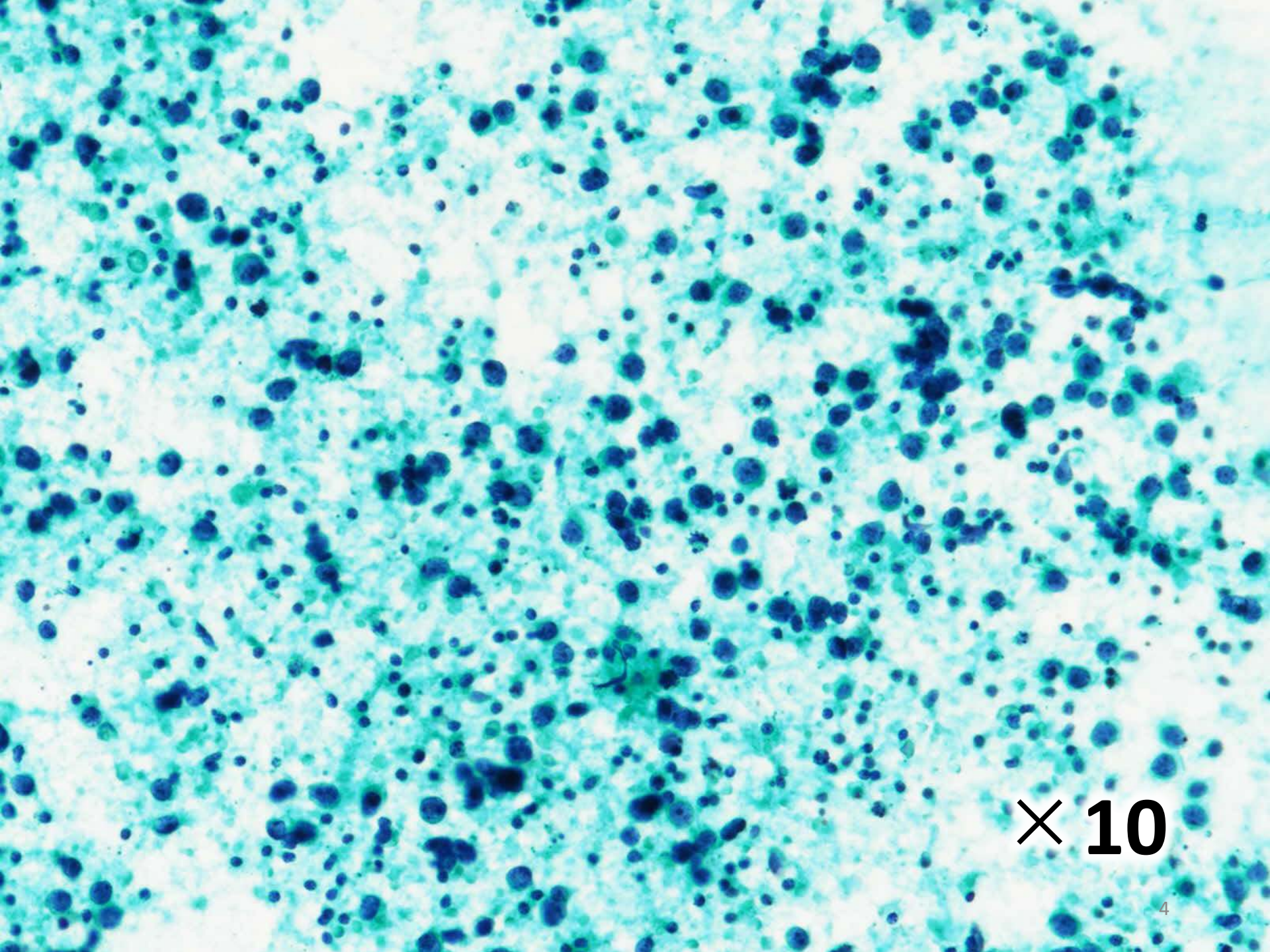
症例 2

リンパ節

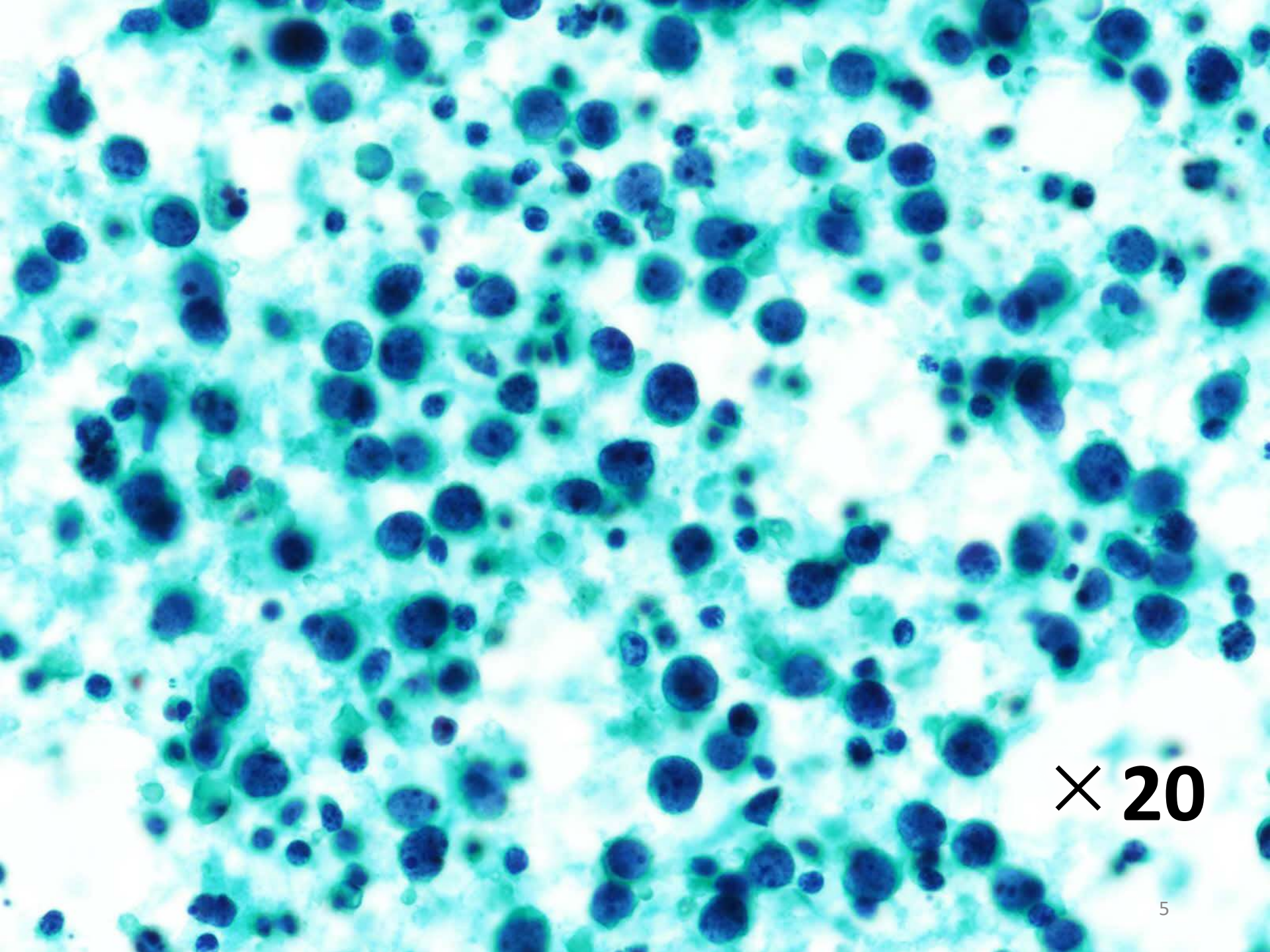
- 症 例 : 70代, 女性
- 主 訴 : 頸部リンパ節腫脹
- 既往歴 : 肺結核(20歳), 副鼻腔炎
- 臨床所見 : 3か月前に頸部リンパ節腫脹を自覚. CT検査で内部に壊死と思われる低吸収域を伴う2x3x5cm大の頸部リンパ節腫大を認めた. 原発不明癌・結核性リンパ節炎が疑われ穿刺吸引細胞診を施行した.
- 採取部位 : 頸部リンパ節
- 採取方法 : 穿刺吸引細胞診
- 標 本 : 従来法



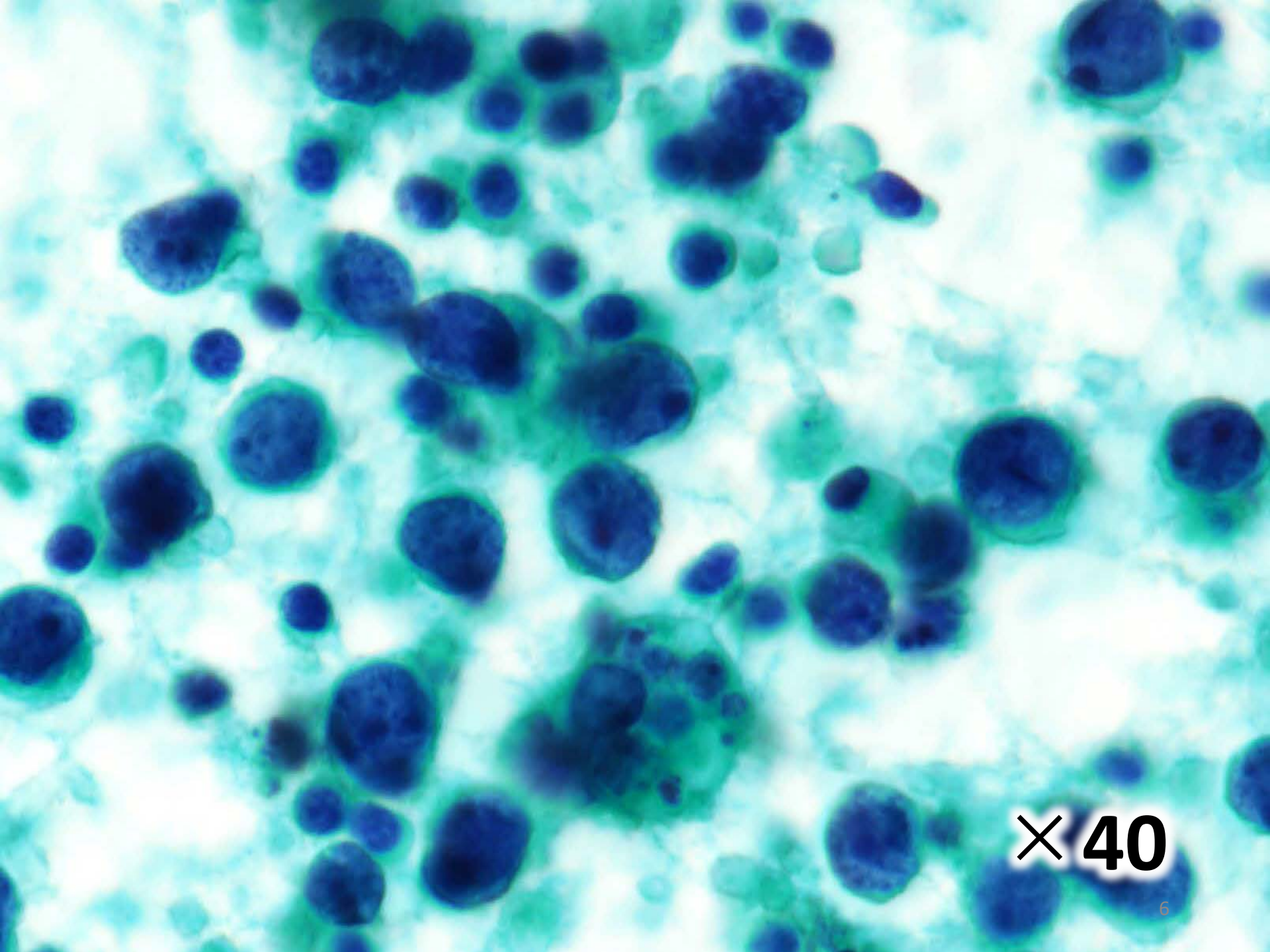
× 4



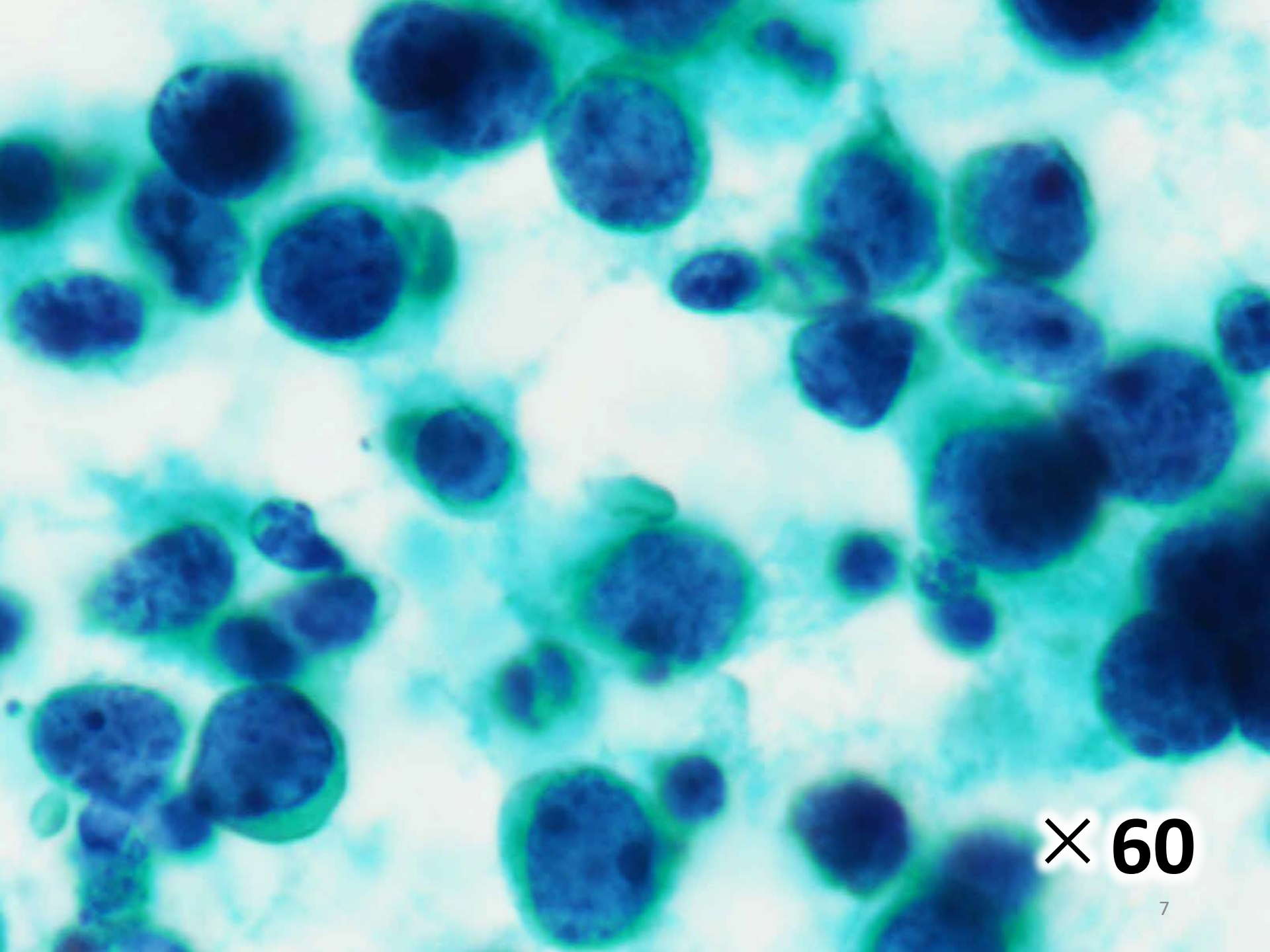
× 10



× 20



× 40



× 60

選択肢

1. 組織球性壊死性リンパ節炎(菊池病)
2. 結核性リンパ節炎
3. Burkitt リンパ腫
4. High grade B-cell lymphoma または
びまん性大細胞型B細胞リンパ腫
5. 癌腫の転移